

5月13日の学習課題について【二年 国語】

5月13日（水）

①教科書P16～17「見えないだけ」を三回音読する。

・間のとり方や読む速さに意識して読んでください。

※恥ずかしがらず、声を出して音読しましょう。

（周りの迷惑にならない程度に…）

②「見えないだけ」のノートをまとめる（2ページにあります）。

・「国語便覧」のP180に詩の種類や形式が載っています。便覧を参考に、空欄をうめてみましょう。

・表現技法が使われている部分を教科書から抜き出し、ノートにまとめよう。

（「」の部分には、教科書の表現が入ります。）

目標・詩の種類や、詩の中で使われている表現技法を理解する。

☆詩の種類：大きく二つの文体に分かれ、さらに形式上三つに分けられる。

※文体↓文章(詩)の形式や様式のこと。

形式			文体	
()	()	()	()	()
普通の文章で書かれた詩(句読点が使われている)			昔の言葉で書かれた詩	
音数に決まりがない詩			現代の言葉で書かれた詩	
音数に一定の決まりがある詩				



「見えないだけ」という詩の文体と形式は・・・()

☆詩の表現技法

○対句(たいく)：一対になる語句を用い、対照的に表現する方法。



文体と形式の種類を組み合わせ、漢字五字で表してみましよう。

○擬人法(ぎにんぽう)：人間以外の物を人間のようにたどえて表現する方法。



○体言止め(たいげんども)：終わりに体言(名詞・ものの名前)を置き、印象を強めたり余韻(よごん)を残したりする表現技法。

